

## マーケットの動き（2024年1月22日～1月26日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円でほぼ横ばいとなりました。次回以降の日銀金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除するとの思惑が広がり国内金利が上昇すると、米ドルは一時147円台を下回る水準まで下落しました。一方で、市場予想を上回る米国経済指標を背景に米国景気の底堅さを意識した円売り・米ドル買いの動きもあり、前週末とほぼ同水準まで米ドルは買い戻されました。ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに下落しました。

## 投資環境見通し（2024年1月）

## 円に対して米ドルは小幅に下落、ユーロは下落

**米ドル：**日米金利差が縮小するとの投資家の見方が円高ドル安要因とみられますが、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ見通しや日銀による政策修正を巡る不透明感も強く、ドルは円に対して小幅の下落にとどまるとみています。

**ユーロ：**製造業の景況感悪化や低調な消費からユーロ圏景気は低迷が続くとみられ、ユーロは円に対して下落するとみえています。

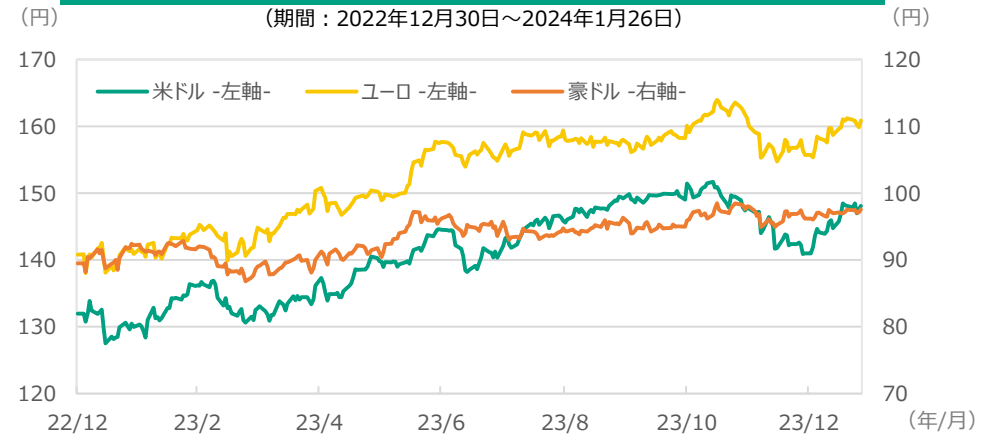
	1月26日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	148.09	▲0.02	5.49	7.70	17.63
ユーロ/円	160.86	▲0.33	3.62	5.54	19.26

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

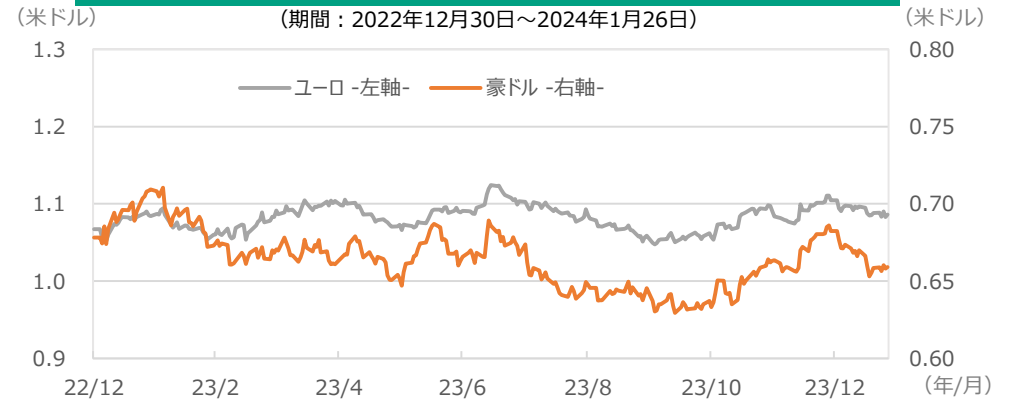
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202401\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202401_outlook.pdf)

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>